



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和3年2月15日発行

No11

## 授業改善推進校の取組

校長 齋藤直樹

本校は今年度、足立区教育委員会より授業改善推進校の指定を受け、ご指導・ご支援をいただく中で「主体的に学習に取り組む生徒の育成～統一した学びのスタイルを活かした授業づくり～」を研究主題として研究を進めてきました。統一した学びのスタイルとは、①めあて・課題の提示②自分で考える時間③話し合い・学び合いの時間④発表の時間⑤まとめ・振り返りの時間の5点を取り入れた授業形態です。本校でこれまで桜花小学校と連携し取り組んできたこの統一した学びのスタイルの授業を活かし「学びの主体を生徒に移す」ことを意識し、生徒から引き出すめあての設定、見通しをもって取り組む学習活動、課題解決のためのペアやグループ活動など全職員で授業改善に取り組ましました。主体的に学習に取り組む姿勢を育む指導のあり方を探ることを研究の目標として、「授業のどこに課題があるのか、どこを改善したらいいのか」等、研究協議を重ねることで、教員の授業改善に対する意識も高まり、授業が少しずつ変わってきています。また、今年度より本校の生徒の実態に合わせた家庭学習ノートを作成し、その日の授業の復習を毎日することで、家庭学習の習慣化、学んだことの定着、主体的に学習に取り組む姿勢の育成を目指しました。

研究では、始めに『各教科において次の4つの視点「①生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組める課題の設定」「②自力の解決策と他の解決策が共有・比較検討できるペア・グループ学習の工夫」「③学んだことの振り返りの工夫」「④ICT機器を含め、生徒が興味をもてる教材教具の工夫」で授業改善すれば、生徒は主体的に学習に取り組めるであろう。』と研究仮説を定め、各教科で実践に取り組むこととしました。生徒の実態把握、効果検証のための区調査と3回の校内意識調査を実施し、研究仮説の4つの視点に立った授業改善のための校内研究授業を年間4回実施しました。1月20日には、足立区教育委員会学力定着推進課より三輪統括指導主事をはじめ学力定着指導員の先生方にお越しいたき、第4回の研究授業と今年度の実践報告を行いました。

生徒意識調査の結果から「統一した学びのスタイルの授業ができていない」の割合は85.1%でしたが、目標としていた90%には達しませんでした。また「自ら進んで課題を見つけ解決する方法を考える」と「授業の終わりにまとめや振り返りができている」の割合は80%を下回り、授業で生徒自らが課題を見つけ課題を解決していこうとするまでには十分至っていないこと、授業のまとめと振り返りはまだしっかりとできていないことがわかりました。今後は1時間の中で完結できる授業設計と実践が求められます。学びのスタイル以外では、「力がついた、できるようになったと実感し、今後活用できる」と「タブレット等のICT機器やホワイトボード等の教具の活用」が90%を下回っており、生徒が「できた、わかった」と自ら実感できる授業づくりを工夫する必要があります。タブレットなどのICT機器やホワイトボードの活用も定着してきましたが、教員や教科により差があります。また生徒が活用する場面を取り入れた授業は、まだまだできていません。

学習に臨む姿勢では「授業の目標を理解し見通しをもって学習に取り組んでいる」の割合は85.6%と比較的高いことから、生徒が主体的に授業に向かう姿勢がみられます。一方で「問題が解けた時、別の解き方を考える」「不得意なことや苦手なことでも自ら進んで取り組む」の割合は70%を下回っており、決められたやり方や好きなことはできるが、自ら違う考え方をしたり、苦手なこと取り組んだりすることは避ける傾向があり、主体性に欠ける面もみられます。

家庭学習ノートの取組では、「家庭学習に毎日取り組み、家庭学習ノートを毎日提出できた」の割合は97.3%で目標とする100%には届きませんでした。また、授業の振り返り、復習という家庭学習の取組については十分とは言えず、漢字練習や英単語練習を繰り返しやってくる生徒もいます。授業の振り返りと家庭学習の取組が連動できるように授業内での振り返りに工夫・改善の必要があります。

今年度の実践から、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしていくには、「①日常に即したリアルな課題や『一人では難しいが、周り協力すれば解決できるかも』くらいの難易度の課題の設定をすることで興味・関心や課題解決への意欲をもたせる。」「②生徒から課題や疑問、考え方や解決策を引き出す発問の工夫やタブレットやホワイトボードの有効活用により、話し合い、学び合い、発表する機会や場面を増やしていく。」「③振り返り時間を確保した授業設計、振り返りシートの活用等により、本時の復習・既習事項の確認ができ、次の学習内容に繋がり、興味をもたせることで、次時の課題解決に活用できるようにする。」の3点について継続、改善し、取り組んでいく必要があると考えます。「なぜ学ぶのか、何ができるようになるのか、活用できるのか」と生徒が必要・有用性を感じることで、「できるようになりたい、力をつけたい」という学習意欲につながり、自ら学ぼうとする好循環が生まれるのではないかと考えられます。そのためには生徒のきっかけづくりとなる教員側の課題提示や発問の工夫、振り返りの工夫が不可欠といえます。コロナ禍で十分に満足いく取組ができなかった教科もありますが、今年度の実践を活かし、新学習指導要領の完全実施と合わせ、次年度も引き続き研究を進め、生徒の学力向上、教員の授業改善、指導力向上に努めてまいります。

## <2月3月の予定>

2月			3月		
日	曜	主な学校行事	日	曜	主な学校行事
16	火		1	月	
17	水	英語チャレンジ講座（1年）	2	火	都立一次・前期合格発表
18	木		3	水	
19	金	英語チャレンジ講座（1年）事後テスト	4	木	
20	土	数学チャレンジ講座	5	金	学習作品展示発表会
21	日	都立一次・前期受検日	6	土	
22	月	期末考査（1，2年）	7	日	
23	火	天皇誕生日	8	月	専門中央委員会
24	水	期末考査	9	火	朝礼 専門・中央委員会
25	木	期末考査	10	水	都立二次・後期入試
26	金	到達度テスト	11	木	
27	土		12	金	卒業遠足
28	日		13	土	
			14	日	
			15	月	
			16	火	都立二次・後期発表

## <生徒の様子>



1年生の百人一首大会。札に直接触れないように、ペンなどを使って札を取り合いました。終わった後、またやりたい、との声が多数上がって、とても良い会になりました。



3年生に向けて先生方や1，2年生からの応援メッセージが書かれた紙で「FIGHT」の文字を作り、昇降口に張り出しました。たくさんの人が応援しています。がんばれ3年生。



4月に花畑地区に開校される文教大学への歓迎の横断幕を作りました。ボランティアの生徒が様々なアイデアを出し、とてもかわいらしいものが出来上がりました。

## <編集後記>

緊急事態宣言が延長になり、予定をしていた校外学習が中止もしくは延期となってしまいました。生徒たちはまた楽しい行事を我慢することになってしまい、気の毒で仕方ありません。そんな中でも毎日の授業にしっかり取り組んでいる生徒たちの姿を見ると本当によく頑張っているなと感心させられます。

さて、今年度唯一といってもいい学習作品展示発表会が3月5日（金）に行われます。接触することはできませんが、他学年の生徒がどんな作品を作ってきたのかが見られるので、特に1，2年生にとっては先輩の作品が見られるのでいい刺激になることと思います。保護者の皆様にも、あらためてご案内を差し上げますが、生徒が午後見学をするので午前中の時間に、学年で時差をつけて見学の時間を設けます。中学生の作品はいろいろな才能にあふれていて見ごたえがありますので、ぜひお越しください。美術科や技術、家庭科の作品だけでなく総合の時間に取り組んだ作品など各学年で工夫した展示になるとと思いますので、楽しみになさってください。